**街頭宣伝例　2021/05/19　鳥取県委員会**

ご町内のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして訴えをさせていただきます。ご協力よろしくお願いします。

みなさん、新型コロナウイルス危機にどう対応するか、お話させていただきます。コロナウイルスがやっかいなのは、感染しているのに無症状のため、ウイルスをどんどんひろげてしまうところにあります。ノーベル賞医学生理学賞を受賞した本庶佑（ほんじょたすく）さんは、「感染者の早期発見と隔離は医学の教科書に書いてある。なぜ厚労省は教科書に書いてある事をしないのか。理解に苦しむ」と述べています。日本の検査は世界で146位です。本庶さんのいうとおりではないでしょうか。いつでも、どこでも、無料でうけられるようにして、大規模検査で感染を封じ込める。このことを政治の責任で実行させようではありませんか。

それから、ワクチンです。ワクチン接種も、日本は世界131位で、先進国のＯＥＣＤ37カ国で最下位となっています。あまりの遅れといわざるをえません。医師、看護師、検査技師など十分な体制を確保し、安全・迅速なワクチン接種ができるよう、政府に強く求めようではありませんか。

経済は戦後最悪の落ち込みとなっています。低賃金・不安定な働き方を余儀なくされている労働者、人との交流の場を作ってきた宿泊・飲食・運輸などの業種はもっとも深刻な影響を受けています。ところが、持続化給付金や家賃支援金などの国の支援が打ち切りになりました。十分な補償と生活支援がいまこそ必要です。あわせて、国民の命を救うために医療機関にたいして、減収補てんなどの支援を強化すること、コロナ対策と両立しない東京オリンピック・パラリンピックを中止する決断を強くもとめたいと思います。

みなさん。菅政権は、コロナ危機にたいしてやるべきことを怠っているうえに、病院をへらす、高齢者の医療費を倍加する、国民多数がもとめてもいない憲法改定の投票法案を強行しようとしています。菅政権では、国民の命とくらし、民主主義も守れません。

日本共産党は、年内におこなわれる総選挙で、自公にかわる新しい政権、野党連合政権を実現するために全力をつくします。4月の北海道、長野、広島の３つの国政選挙では野党統一候補が勝利しました。総選挙は２つの投票があります。小選挙選挙は、候補者名を書いて投票します。鳥取1区、日本共産党は、岡田正和さんを候補にたててがんばります。２区は、市民と野党の共闘候補の勝利に全力をあげます。そして、もう一つの選挙が比例代表選挙です。政党名を書いて投票します。定数11の中国ブロックで、日本共産党は、前衆議院議員の大平よしのぶさんを必ず国会にと全力をあげています。比例代表選挙では、日本共産党へのご支援をよろしくお願いします。また、桜を見る会などスクープ連発の「しんぶん赤旗」のご購読をお願いし、訴えを終わります。ありがとうございました。

以上